

2026 年度
高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第 1 次）入学試験

＜ 一般選抜 ＞

専 門 科 目

（教育研究分野）植物生育環境学

問題冊子 . . . 問題（4）問（1）ページ（表紙を除く）
解答冊子 . . . 解答用紙（4）枚（表紙を除く）
下書用紙 . . . （3）枚
配 点 . . . 問題用紙に表示のとおり
試験時間 . . . 9 時 30 分～11 時 00 分（90 分）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 配布された問題冊子の表紙に、自分が選択する教育研究分野（研究室）が書かれてあるか、確認すること。もし、違っている場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、問題冊子・解答冊子・下書用紙の枚数を確認し、解答冊子の表紙及び解答用紙各頁の所定欄に受験番号を記入すること。
4. 試験中に、問題冊子・解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、及び下書用紙の不備に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答は、それぞれの問題番号が書かれた解答用紙の指定された箇所に記入すること。なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
6. 解答冊子は綴じたまま記入し、試験終了後も各ページを切り離さないこと。
7. 配布された解答冊子は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子・下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

2026 年度 高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第 1 次）入学試験問題 〈一般選抜〉

教育研究分野	植物生育環境学
--------	---------

（専門科目）

-
- 問題 1 複合肥料（20-10-10）を用いて、窒素 10 g m^{-2} の割合で施肥を行うとき、面積 3000 m^2 の水田に施肥するのに必要な複合肥料の重量を求めなさい。なお解答には計算過程も示しなさい。（20 点）
- 問題 2 硫酸アンモニウム（硫安）の施用によって土壌が酸性化する理由を 2 つ説明しなさい。（30 点）
- 問題 3 水田に複合肥料（20-10-10）を 50 g m^{-2} の割合で施用した時、作土の窒素含量は何パーセント増加するかを求めなさい。ただし、施用前の作土の厚さを 15 cm 、かさ密度を 1.1 g cm^{-3} 、全窒素含量を 2.4 g kg^{-1} とする。なお解答には計算過程も示しなさい。（30 点）
- 問題 4 日本の農業が直面している課題を 1 つ挙げなさい。そして、その課題の解決に向けて、どのような調査や研究が必要とされているか、自身の見解を述べなさい。なお直面している課題については、例を挙げながら具体的に述べることを望ましい。（120 点）